



様式第10号(第14条関係)

令和7年6月30日

令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井伸二 様

住 所 鳥取県倉吉市福庭337
団体名 NPO 法人かほくスポーツクラブ
代表者職・氏名 代表 加藤 康彦

令和6年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 寄附金受入額 令和6年度合計 40,000円
- 2 添付書類
 - (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
 - (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>

様式第10号の2（第14条関係）

寄附金活用実績報告書

事業名	少年少女バレーボール教室
実施期間	令和6年12月15日（日）
事業内容 ※対象者の範囲や 人数、実施方法等を 具体的に記入。	<第20回少年少女バレーボール教室> と き 令和8年12月15日（日）9：00～16：30 ところ 三朝町総合スポーツセンター （鳥取県東伯郡三朝町大字山田214-1） 講 師 藤田幸光さん（元全日本選手） 大竹秀之さん（元オリンピック日本代表） 参加者 県内小学生102人 実施方法・指導内容 一日をとおり、午前中は準備運動、基礎練習、バレーボールのサーブ、レシーブ等の基本を教えていただき、午後には、ポジション別にスパイク、レシーブ、トス等の指導をいただいた。 最後に講師と参加チームによる交流試合、講師、指導者や補助員を交えてのエキジビションマッチを行う。
事業実施の 成果・効果 （見込み）	少年少女バレーボール教室では、トップアスリートの指導を受ける機会となり、小学生にバレーボールの楽しさや技術の習得につながった。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和6年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	40,000	（第1回交付分）
教室参加費	95,000	バレーボール教室参加費
団体補助金	30,000	中部バレーボール協会等
自己資金	154,537	
収入 計	319,537	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
謝金	200,000	バレーボール教室講師 2人
旅費	55,512	バレーボール教室講師旅費 2人
宿泊費（講師）	36,700	バレーボール教室講師宿泊費 2人
講師昼食代	7,080	バレーボール教室講師宿泊費 2人
会場借上費	8,160	
食料費	1,085	講師飲料
消耗品費	11,000	ラインテープ等
支出 計	319,537	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。